



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局
〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2
TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当：上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課
〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3
TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ→ [ふるさと上越](#)



「令和」初の例大祭 撮影：松本 栄規

「たより」No.253 目次	会員数と「ふるさと市場」販売報告	1	
	Jネットの活動とお知らせ サロン、勉強会 など	2	
	同窓会・郷人会コーナー	4	
	とれたて上越	4	
	上越産品販売のお知らせ	5	
	会員ひろば 会員の皆様からの投稿・寄稿	6	
	鯉橋師匠高座予定,および Jネットからのお知らせとお願い	8	

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在590名です。(本年度目標:600名)

(2) 「ふるさと市場」(6月)の販売状況

(円)

		件数	販売額
1	(有)上越商業サービス公社	12	13,007
2	(財)牧農林業振興公社	1	2,800
3	(有)上越ペイコク	8	8,000
4	(有)肝太	2	11,000
	合 計	23	¥34,807

Jネットの活動とお知らせ

(1) Jネットサロンの報告と次回予定

- 東京サロンは毎月木曜日。次回は8月8日、次々回は9月12日です。

6月13日(木)の東京サロンは、女性陣からの新鮮野菜の差し入れに、いつもの「雪中梅」「スキー正宗『入魂』」「吟田川」と日本酒での乾杯ではじまりました。県人会仮事務所での開催も手馴れてきましたね。(^^)

7月11日(木)のサロンは、当日の勉強会ー赤坂離宮と絵画館見学ーのお疲れからか、レギュラーメンバーが欠席。でも、上越の産品をつまみに大いに盛り上がりました。上越の竹田千晴さんから「♡Jネットのみなさま♡上越の元気イッパイ 野菜の漬物ですよ〜!! モリモリ食べて笑ってね^o^ モリモリ食べて楽しんでね♪モリモリ食べて喜んでね♡」とメッセージ付きで美味しい漬物が届きました。丸なすもピクルスも大変美味しくいただきました。(*^^*) 魚住かまぼこさんには遠くからお越しいただき、美味しい日本酒の差し入れまでいただきました。ごちそうさまでした。美味しく、楽しい一夜はあっという間に過ぎ、その勢いは2次会へ。来月は8月8日(木)、上越に帰省するお盆前のひとときを、東京でご一緒しましょう!

会場：東京新潟県人会館。
住所：台東区上野 1-15-10 大秀ビル 2F
TEL 03-3832-7619 (17:00 まで)
最寄り駅は、地下鉄千代田線「湯島」駅徒歩1分
JR「御徒町」駅徒歩10分。



(2) 第43回勉強会報告

- 迎賓館赤坂離宮本館・主庭見学

7月11日(木)、参加者は12名。昨年10月に続く赤坂離宮参観ですが、今回の目玉は、本年4月に公開された朝日の間です。朝日の間は、赤坂離宮の中でも最も格式が高いとされ、賓客の表敬訪問や首脳会談(令和初の安倍首相とトランプ米大統領会談にも使用)、それに国賓が天皇后陛下とお別れの挨拶をする部屋です。その名の由来となった、朝日を背に、月桂樹の枝を持つ女神の天井画や見事な金箔装飾を鑑賞。

特別展は、この部屋で使われていた厚さ約2cmの緞通で、まだ弾力がありました。

上智大学での昼食後は、聖徳記念絵画館へ。勝・西郷の江戸開城談判、大政奉還をはじめ、明治天皇の生涯での出来事を描いた約3m四方の迫力ある絵画が80点ほどで、歴史小説や大河ドラマとは違った感動・見応えがありました。



(3) 名古屋サロンを9月21日に開催いたします。

名古屋サロンを9月21日(土) 17:00～開催いたします。例年、多くの方にご参加いただいております。友人、知人の方に声を掛けてください。

日時：9月21日(土) 17:00～。

会場：名古屋駅ビル15階 マリオットアソシアホテル「バーゴラ」。

会費：5,500円。

(4) 藤沢理事、上越市食料・農業・農村政策審議会委員に就任

上越市より、大消費地首都圏を含む広域に会員を擁するJネットに対して、委員就任の打診があり、現在同委員の藤沢勝一郎理事が引き続き、就任することになりました。

期間は、令和元年6月から2年間。

農業生産者・団体、首都圏消費者、関係行政機関が一体となって上越市の農業施策の着実な進捗と今後の方向を定めるための協力をしていきます。

(5) 「ストリートピアノ」を弾いてみませんか — 埼玉ふれあいピアノの設置

本年6月、さいたま市「浦和美園駅」改札前広場に、「埼玉ふれあいピアノ」が設置されました。これは、世界で今話題の「駅ピアノ」、「空港ピアノ」で、誰でも自由に弾けるピアノ。街に潤いを与え、活性化に一役買うようになっており、日本でも広がりつつあります。

このたびは、Jネットの鈴木宏子会員が中心になって、「音楽溢れるさいたま市」をめざし、関係団体と話を進めて実現したものです。埼玉高速鉄道(株)の協力およびさいたま市の後援をいただき、ピアノ及び運搬・調律などの費用は市民の有志からの寄付で補いました。

浦和美園駅は埼玉スタジアムの最寄駅。埼玉スタジアムは、人気のサッカー試合も行われ、東京2020オリンピック会場です。

6月29日にオープニングコンサートを開催、9月23日(月・祝)のエンディングコンサートまで設置され、8月には夏休み子供コンサートも開催の予定。

お問合せ先

「さいたまの街にストリートピアノを設置する会」

代表 鈴木宏子

TEL 048-824-2788 携帯 080-2102-4245

E-mail: renkotakada@jcom.home.ne.jp



(6) ふるさと上越ネットワーク2020年カレンダーの写真を募集します。

上越市らしい写真をぜひお送りください。

定番の観光ポイント以外で、今まで掲載されたことのない場所/行事も大歓迎です。奮ってご応募ください。

カレンダーの表紙、1-2月、3-4月、5-6月、7-8月、9-10月、11-12月の各ページに掲載し、併せて、場所(行事)、撮影者名を記載します。

ご応募は、

横長写真(縦横約2:3の比率)とし、

8月31日までお願いします。

送付先

Jネット東京事務局

宮里 k.miyazato@araipt.co.jp



同窓会・郷人会コーナー

「たより」発行日から2ヶ月以内に開催する会をご案内します。事務局まで情報をお寄せください。

(1) 保倉秋葉会定期総会の報告

6月9日(日)。ホテル丸谷(上野)にて開催。

大島区保倉地区から訪れた7名を含め、全体で24名の出席。

岩野会長は、サムエル・ウルマンの詩「青春とは」を引用され、「歳月は皮膚にしわを増すが、情熱を失うと心にしわがいく。…希望、歓喜、勇気、活力を持つ限り、その人は青春にある」とご挨拶。

70名にみえない大島中学生徒が作成した大島区の見どころマップ(Oshimagram)を配布。

在京の出席者は、おりしも蛸まつりが始まる、自然が豊かなふるさとに心を馳せた。

(2) えちご妙高会定時総会の報告

7月15日(海の日)、浅草ビューホテルにて開催。外は、小雨で霏もかかるも、窓からは、時折、東京スカイツリーがまじかに姿を見せる。妙高市の入村市長をはじめ県人会や東京糸魚川会、東京浦川原会など100名ほど出席で、Jネット会員も多数。

入村市長は、いつもながらの名口調で、妙高国立公園の売出しといもり池周辺でのサテライトオフィス作り、それに外資誘致の話を紹介し、豊田会長は、社会とのつながりと故郷を持つありがたさを語られた。

アトラクションの全盲シンガーソングライター板橋かずゆき氏の歌には文句なしに感動。

とれたて上越

とれたて上越のコーナーでは、上越や上越産品の情報を載せてまいります。皆さまからの情報をお待ちしています。事務局(k.miyazato@araipt.co.jp)までお寄せください。

(1) 上越の行事と話題

①第40回 上越蓮まつり

7月20日(土)～8月25日(日)。高田公園。

東洋一といわれている高田公園の蓮(はす)。会期中は、蓮に因んだ、実にさまざまなイベントが盛りだくさんです。西堀北側の観蓮園では世界各種の蓮も鑑賞できます。

なお、期間中8月1日～4日は、

「ドイツビアフェス 2019 in 上越蓮まつり」も開催されます。

上越市初のドイツビールも登場！地元の料理・つまみも勢揃い！

会場：高田公園忠霊塔前広場 入場料：1日300円(12歳未満無料)



②第94回 謙信公祭

前夜祭8/23(金)。本祭8/24(土)～8/25(日)。春日山。

上杉謙信公の遺徳を偲んで開催されています。武締式から、出陣行列、川中島合戦の再現と、各所で行事が用意されています。

③春日山城址案内

5～7月、9～10月の土日祝日10:00～11:30。定員15名程度/回。1名様300円。

9:55amまでに春日山城址 謙信公銅像下にご集合ください。

④越後・謙信SAKEまつり 2019

10月19日(土)～20日(日)。本町3-5丁目。試飲代1,500円。

上越市と妙高市両市の19の蔵元で造られる日本酒をはじめ、ワイン、どぶろく、地ビール清酒・ワインの試飲ができます。また、「SAKE」に合う特産品やお土産も数多く販売され、上越の食文化がまるごと味わえます。

「まつり酒」の限定発売、杜氏による伝統の酒づくり唄の披露や武者行列、音楽ライブなどのイベントもあります。

⑤ 謙信公武道館（新潟県立武道館）の建設

戸野目古新田にて建設中。2019年12月オープン予定。

新潟県の基幹スポーツ施設として、全国レベルの競技会等の開催、年間を通じた武道の競技力向上、青少年の健全育成、県民の健康保持増進を目的とし、2019年12月オープンに向けて整備を進めています。

現場見学会の様子などが、ホームページで紹介されていますのでご覧ください。

<https://www.niigatabudokan.com/>

(2) なんでも上越

～目薬の木のお話～

目薬の木（メグスリノキ）という珍しい名の木をご存知ですか？

長者の木、千里眼の木とも呼ばれ、日本に広く自生するカエデの仲間です。昔から樹皮を煎じて、ものもらいや、カスミ目によく効くと言われてきました。近年、星薬科大学の研究などにより、眼病の予防や視神経の活性化に効果があるとともに、肝機能の改善などの効果も明らかになりました。

この目薬の木は妙高市新井で栽培され、テイバックで販売されているほか、ウコンを加えた清涼飲料、「肝太ウコン」としても発売されています。開発者の池田肝太さんはJネット会員で、かつて林野庁で国有林の管理にあたった経験から、このドリンク（薬事法の関係で清涼ドリンクとして発売）には絶対の自信をお持ちで、「酒席の前には是非！」と薦めています。

肝太ウコン（清涼ドリンク 100ml）1本 300円。

Jネットのふるさと市場ではコンスタントに売れている人気商品でもあります。

(3) 直江津・八坂社社殿改修についてのお願い

八坂神社社殿改修奉賛会様より、下記の通り、お願いがありましたので、掲載します。なお、同封の改修趣意書もあわせてご覧ください。

約1千年前に創建された八坂神社は、直江津鎮守のお社であり、上越まつりの祇園祭も同神社の祭紀です。祇園祭が県無形文化財に指定されているように、伝統ある同神社は、上越市の誇りであり、貴重な財産でもあります。その八坂神社が、この数十年間の風雨霜雪により屋根の傷みが激しく、雨漏りなどで祭紀にも支障が出ております。

このほど、八坂神社ならびに同氏子、直江津・高田・稲田の各祇園祭典委員会や直江津町内会を中心に八坂神社社殿改修奉賛会が結成され、ご芳志をお願いしております。ご趣旨をご理解いただき、ご浄財のご寄付を賜りますよう、お願い申し上げます。

目標額：8,000万円

ご寄付額：個人一口10千円。法人一口100千円

振込先：ゆうちょ銀行口座番号 00500-7-87429 八坂神社社殿改修奉賛会

ご寄付者ご芳名は、記帳簿に記載し、本殿の祭神とともに末永く保存します。

お問い合わせ：八坂神社社殿改修奉賛会会長 中澤武志（代表）TEL025-543-2895

上越産品販売のお知らせ

「新潟・上越妙高 うまさ直送! 雪国マルシェ」開催。

上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、有楽町交通会館1Fで次の日程にて、開催されます。開店時間は、いずれも11:30-17:30。詳細は、JCV東京情報センター（TEL 03-5218-7730）まで。

○8月24日（土）、25日（日） ○9月28日（土）、29日（日） ○10月12日（土）、13日（日）

上越産品ギャラリーショップのお知らせ。

交通会館4FのJCV東京情報センター（TEL 03-(5218) 7730）では、「ギャラリーショップ」を開店しています。上越妙高の産品を販売する会員限定（Jネット会員は、会員です）のショップです。

営業時間：月～金曜日 11:30-17:00（祝日、年末年始等を除きます）

会員ひろば

会員の皆様の投稿寄稿のコーナーです。ぜひともお声をお寄せください。

あおばざい
青葉騒

佐藤 光子（高田 東城町2出身）

薫風やかなの笑まひこそとこしなへ 光子

新天皇、皇后両陛下のご即位は、誠におめでたい行事であった。

新天皇に付き従っておられる雅子皇后のお姿は、美智子さまの立派な後継者となられることを確信させるものだった。両陛下のことを報じる内外のメディアも、特に雅子皇后を称えていた。私達上越人にとって所縁のある雅子さまを誇りに思う気持ちは格別である。

雅子さまのお祖父さまの小和田毅夫先生は、高田高校の名物校長。歴史・哲学に造詣が深く、高田文化協会の初代会長だった。私も投稿している【文芸たかだ】は、小和田校長が中心となって、疎開を機に移り住んだ堀口大學、坪田譲治、濱谷浩氏らとともに発刊したものだ。更に、四人のご子息が揃って東大卒業ということも、驚異である。

雅子さまのお父上の小和田恆さまの弟、隆さんは付属中学校で私の一級上だった。

戦後も間もなくで、校舎は城跡に建った兵舎を代用していた。その校舎の周りにも桜の木があり、地面をクローバーが埋めていた。放課後は友達とクローバーの上に寝転んで、将来を語りあった。まさに「不来方のお城の草に寝転びて空に吸はれし十五の心」であった。身边には風も無いのに、頭上ではいつも青葉が風でざわざわ揺れ、木漏れ日をこぼしていた。あの葉擦れのざわめきは、今も私の耳朶に残っている。

当時の旧高田市内には高校が、県立・私立で七校あって、一月に合同で【市内高校演劇発表会】が行われていた。

十月頃、中学生なのに「銀の燭台」で賛助出演をしたいと企画したのは、三年生の小和田さんと、後にシェークスピア研究でサントリー学芸賞を受けた玉泉八洲男さんだ。

クラス担任以外は先生が未だ揃わず、大学の先生が教えに来ていたので、参加の希望に「生徒だけでやれるなら」という条件つきだった。しかし、高校受験準備で、三年生はジャンバルジャンの西片さん、ミリエル司教の小和田さん、演出の玉泉さんしか参加者はいない。急遽、端役や裏方に私達二年生が駆り出された。痩身できりりとした面持ちの小和田さんは多くの女子の憧れの的で、司教は嵌り役だった。因みに私はマグロアル老女だ。

「中学生なのに、高校生に伍して立派な出来」と地方新聞で評価された。小和田さんも玉泉さんも共に東大へ進学した人達だ。

今思うと才気が有り余っていて、受験期でも別の何かに挑戦し、力試しをしたかったのだろう。

令和元年五月、Jネットの総会が私学会館で行われた。所用の為総会には間に合わないが、友人との約束で、懇親会には出たい。市ヶ谷駅から会場まではわずかな距離だ。土手に桜の木が何本もあり、頭上からの葉擦れの音が、私を急かせる。

懇親会では、上越の銘酒を手談する輪の中に「小和田亮」の名札をつけた紳士の姿があった。隆さんの下の下の弟さんだ。雑談をしながら「隆さんは」と訊いた。

「いやあ、昔は痩せていたのに、太ってしまいましたねえ。痩せろ、痩せろって言っているんだけど、なかなかー」

え、あのミリエル司教が——思いがけない情報に、耳の奥がざわざわしてきた。



昭和 26 年 1 月 21 日撮影

東京新潟県人会でふるさとの逸品に出会う

内田 隼（旧大潟町出身）

本年1月26日、「東京新潟県人会 新年祝賀会」が椿山荘（東京都文京区）で行われました。当日は快晴だったものの、放射冷却ゆえ寒い日でした。しかし、会は非常に盛大に執り行われ、豪華商品が当たる抽選会や歌手の小林幸子さんが熱唱する等、会場内は熱気に包まれています。

私は、上越市の職員さんと山本味噌の山本様と一緒に、「made in JOUETSU」認証品の販売を行うため、会場を訪れました。

まず、市の職員さんから取り扱う特産品の説明を受けたのですが、知らない特産品ばかりでした。例えば、「幻魚って何?」「翁飴って名前は知っているけれどどんなもの?」という調子で訊くばかりです。

上越市の他の地域をほとんど知らないまま育ちましたが、今回はあらためて、本当に広い市に住んでいたのだな、と気付かされました。また、新たに開発した特産品もあることも知らなかったです。干した鮭や鱈のワイン漬けのように、和洋折衷の特産品も揃えていました。

現在の大潟区で育った私は、小学生の頃、現在の大潟区のことを熱心に調べてまとめ、発表した記憶があります。そのため、今回販売していた「いちじく羹」についてはよく知っており、積極的に販売していきたいと思いました。

もう一つは、「苺の飲む酢」です。これは、「made in JOUETSU」認証品の中では駆け出しで、私の地元・旧大潟町にできました「苺の花ことば」で作っている苺を存分に用いた酢なのです。

最初、「苺とお酢? 合うの?」と思いました。しかし、試してみても驚きました。牛乳割りは、大手Y社の乳酸菌飲料の味、そっくりではないですか!

元々苺は、酸味があるので、それが増幅されています。けれど、前に出すぎず、甘さもしっかりあります。美味しすぎて、あっという間に飲みきりました。

今回物販を経験したことを通して、上越出身にもかかわらず、知らない特産品があることを学びました。それ以上に、苺の飲む酢を開発したことをはじめ、上越の人の知恵の素晴らしさを感じ、特に発酵系が強い街であることを再認識しました。

より積極的に、上越と関わる機会を持つだけでなく、そこに何が眠っているかまで探り、私たち出身者も知らない地元の魅力を発信していきたいと思います。

<メイド・イン上越公式HPより抜粋>

上越市が自信をもって、全国に、そして世界の多くの人たちに発信したい製品・工業製品が「メイド・イン上越」ブランドです。



瀧川鯉橋 師匠 ◎出演予定◎

お問合せは、rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp、TEL & FAX : 03-3845-1202(鯉橋)、および各会場まで。鯉橋ブログ「七転び八起きの末のホンダラダ」でも出演予定掲載中。
☆7月6日(土)の中郷区二本木での公演、皆様のお越しをお待ちしております!

◇8/10(土)梶原「いろは亭」終末昼席・上中里寄席
時 間:午後1時半～4時
木戸銭:2300円
出 演:鯉橋ほか
会 場:梶原いろは亭(都電梶原、JR上中里より5～7分)
お問合せ:03-6322-1622(いろは亭)

◇8/11(日)～20(火)池袋演芸場・昼の部
時 間:12時半～4時15分ごろ ※鯉橋は交互出演(5日間)で3時ごろの出番。
木戸銭:2500円(65才以上2000円など各種割引有り)
主 任:瀧川鯉昇。
ほかに、ボンボンブラザーズ、歌春、文治など出演。
お問合せ:03-3971-4545(池袋演芸場)

◇8/19(月)しのぶ亭落語会「七人の侍」
時 間:午後2時～4時半
木戸銭:1500円
出 演:円福、枝太郎、鯉橋「青菜」、小助六、鳳志、貞寿
会 場:根津・しのばす「しのぶ亭」(根津駅より徒歩2・3分)

◇8/19(月)八起寄席
時 間:午後7時～9時
木戸銭:1000円
出 演:立川只四楼(二席)、鯉橋
会 場:焼肉「八起」(相模大野)
お問合せ:042-748-2611(焼肉やおき)

◇8/25(日)「鯉橋の落語でひとやすみ」
時 間:午後5時～6時半
木戸銭:1000円 ※終演後、別途3000円にて懇親会有り(自由参加)
出 演:鯉橋(二席)、アマチュア前座さんの出演有り
会 場:喫茶「ひとやすみポン」(若木2丁目、環八沿い。東武東上線・上板橋より徒歩約20分)
お問合せ:080-5544-9241(オビ)

◇9/17(火)銀座イタリー亭・落語会&賞味会
時 間:午後6時半開演、7時ごろよりお食事。
木戸銭:8640円(フルコース料理、ワイン代含む)
出 演:鯉橋
会 場:銀座イタリー亭(銀座1丁目)
お問合せ:03-3564-2371(イタリー亭)
◇9/20(金)茅ヶ崎での落語会。午後6時ごろ開演。
◇9/29(日)長瀬・中央公民館の落語会。午後1時半ごろ開演。

●●●●●●●●●●●●●●●●Jネットからのお知らせとお願い●●●●●●●●●●●●●●●●

1. たより発行の変更について Jネット運営委員会
前号の「たより」でもお知らせしましたが、たよりの発行は次のように変更いたしました。
(1)従来の「たより」と「お元気ですか」(各々4頁)を合体し、たより(8頁)としました。
(2)発行回数は年9回とし、うち3回は合併号としました。
合併号(カッコ内は発行日)は
5月/6月号(6月10日発行)、9月/10月号(10月10日発行)、
2月/3月号(3月10日発行)です。
他の月は毎月25日発行。
(3)上越市広報誌「広報じょうえつ」は、毎月1日発行号のみを配布します。
なお、毎月15日発行号は、希望者のみに配布します。ご希望は事務局までご連絡下さい。
今回の変更は、皆さまからのご意見を頂戴し、本年5月の総会でご了承をいただいておりますが、より一層、ご満足いただけるような「たより」とするために、今後ともご意見、ご要望をお寄せください。

2. 情報と投稿のお願い 「たより」編集委員会
上越の内外での上越についての話題や情報、同窓会、各区出身者の集まり、上越産品などの情報をお寄せください。あわせて、ご投稿もお願いします。
ご照会、ご投稿先 事務局 (TEL03-5244-5138) または、k.miyazato@araip.co.jp